

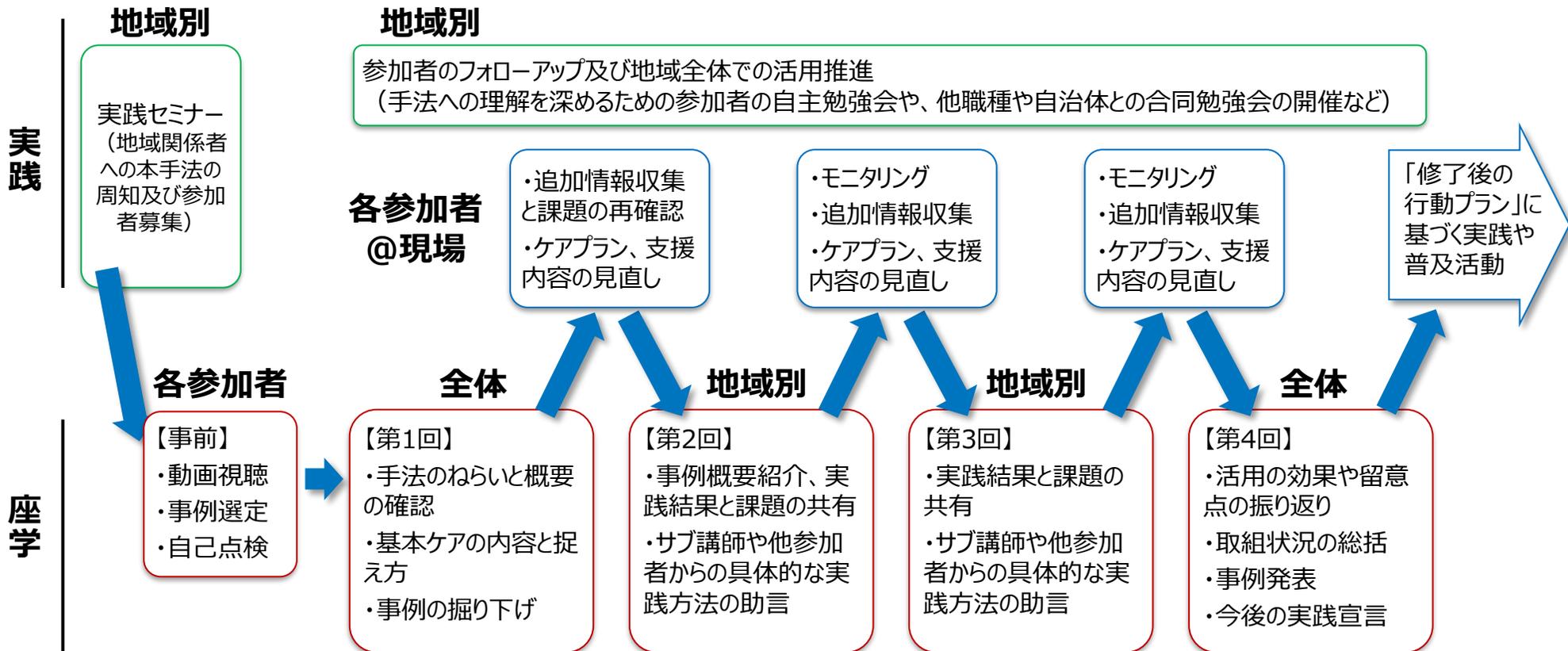
令和3年度老健補助事業
適切なケアマネジメント手法の策定、普及推進に向けた調査研究事業

「適切なケアマネジメント手法」実践研修 プログラム

2022年3月31日
(株)日本総合研究所

研修プログラムの全体像 ～実事例を用いた実践的連続研修～

- 本研修はケアマネジャーが、「適切なケアマネジメント手法」の思考・視点を担当事例に適用させることを通じて、活用の効果を実感し、実践方法を体得することを目的とする。
- 併せて「適切なケアマネジメント手法」の実践や普及において、相談・連携しあえるネットワークを地域内に作ることを目指す。



研修の概要

- 計4回、約5か月間の連続研修とする。

1	対象者	<ul style="list-style-type: none">「適切なケアマネジメント手法」に関心があり、実践に取り入れたい意欲のあるケアマネジャーを対象とする。各回の人数は、グループワークを支援するサブ講師の人数に応じて設定する。（目安はサブ講師1名につき参加者5名程度）
2	実施方法	<ul style="list-style-type: none">オンライン研修、対面研修のいずれも可能
3	実施期間	<ul style="list-style-type: none">約5か月間（月1回程度の頻度／実践期間を含む）
4	実施体制	<ul style="list-style-type: none">ケアマネジャーの職域団体を中心に実施するが、目的に応じて他職種や自治体と連携する。講師は「適切なケアマネジメント手法」の検討・実践に関わっている人とする。サブ講師は、他研修などでのファシリテーター経験を一定程度持っていることが望ましい。
5	評価方法	<ul style="list-style-type: none">参加者アンケート等を用いる。

「適切なケアマネジメント手法」実践セミナー

- 地域全体で「適切なケアマネジメント手法」に対する関心を高め、研修に参加する動機付けを行う上で、セミナーという選択肢がある。

1	対象者	<ul style="list-style-type: none">• 各地域のケアマネジャー、他職種、自治体
2	実施方法	<ul style="list-style-type: none">• オンライン、対面いずれも可能
3	内容、時間	<ul style="list-style-type: none">• 各実施機関において検討する <p>(90分で実施する場合の例)</p> <ul style="list-style-type: none">- 「適切なケアマネジメント手法」のねらいの説明- 「適切なケアマネジメント手法」の手引き 解説動画の視聴- 地域としての普及のねらいの共有- 実践研修の案内

研修全体カリキュラム

実施方法	内容	時間数
事前学習	<ul style="list-style-type: none"> ・手引きの読み込みと解説動画の視聴 ・事例選定、自己点検、事例関連資料の提出 ・自己紹介&目標設定シートと事前アンケートの提出 	約2時間
第1回研修 (全体)	<ul style="list-style-type: none"> ・「適切なケアマネジメント手法」のねらいと概要の確認 ・基本ケアの内容と捉え方（個人ワーク、グループワークを含む） ・事例の掘り下げ（個人ワーク、グループワークを含む） 	4時間
現場実践①	<ul style="list-style-type: none"> ・対象事例の追加情報収集と課題の再確認 ・必要に応じて、ケアプラン、支援内容の見直し案の作成 	1～1ヶ月半
第2回研修 (地域別)	<ul style="list-style-type: none"> ・現場実践①の振り返り（事例紹介、実践結果の共有、実践方法の助言） ・全体共有 	2時間
現場実践②	<ul style="list-style-type: none"> ・対象事例のモニタリングと追加情報収集 ・必要に応じて、ケアプラン、支援内容の見直し案の作成 	1～1ヶ月半
第3回研修 (地域別)	<ul style="list-style-type: none"> ・現場実践②の振り返り（事例紹介、実践結果の共有、実践方法の助言） ・全体共有 	2時間
現場実践③	<ul style="list-style-type: none"> ・対象事例のモニタリングと追加情報収集 ・必要に応じて、ケアプラン、支援内容の見直し案の作成 	1～1ヶ月半
第4回研修 (全体)	<ul style="list-style-type: none"> ・現場実践③の振り返り（実践結果の共有、実践方法の助言） ・取り組み事例の発表とコメント ・実践状況の総括 ・今後の実践宣言、研修の振り返り（グループワークを含む） 	4時間

事前学習

- 研修参加にあたっての目標設定と、最低限の知識習得のため、事前学習を課す。

① 手引きの読み込みと 解説動画の視聴

- 「適切なケアマネジメント手法」の手引きの読み込みと、手引きを解説した動画の視聴（以下URL）を通じて、手法のねらいと概要を理解する。
<https://www.youtube.com/playlist?list=PLN9FPW9wR0UGcjJ1YPCX6Dmv9Z4NUQa32>

② 事例選定、自己点検、 事例関連資料の提出

- 現在担当している事例の中から、現場実践で用いる事例を1つ選定する。
- 当該事例について自己点検を行う。
- 事例関連資料（ケアプランなど）を提出する。

③ 自己紹介&目標設定シートと 事前アンケートの提出

- 第1回研修の自己紹介の時間で用いる「自己紹介&目標設定シート」を記入することを通じて、研修の目標を意識付ける。
- 事前アンケートを課すことで、参加前の「適切なケアマネジメント手法」の理解・実践の度合いを把握して研修効果の測定に用いる。

第1回研修

時間数	セッション	内容	使用教材
10分	開会	研修の趣旨、本日の進め方の説明	・第1回研修資料
15分	講義	「適切なケアマネジメント手法」のねらいと概要の確認 ・本手法の意味、基本的な考え方、活用方法と留意点の講義	・第1回研修資料
15分	演習	自己紹介・目標の設定 ・グループ毎に、自己紹介と、研修を通じて得たいことを共有する（15分）	・事前学習で記入した「自己紹介&目標設定シート」
20分	講義	基本ケアの内容と捉え方 ①概要 ・基本ケアの説明、活用時の留意点の講義	・第1回研修資料
45分	演習	基本ケアの内容と捉え方 ②自己点検 ・個人ワーク（10分） ※講義を踏まえて、事前学習で記入したチェックリストに加筆する ・グループワーク（25分） ・全体共有（10分）	・事前学習で記入した「自己点検チェックリスト」
10分	休憩		
60分	講義	事例の掘り下げ ①掘り下げの方法 ・想定される支援内容の必要性や、特に重要あるいは見落としがちなアセスメント項目の講義 ・基本ケアの特定の項目について掘り下げる方法の講義	・第1回研修資料 ・基本ケアの項目一覧
60分	演習	事例の掘り下げ ②グループでの共有 ・個人ワーク（5分） ※講義を踏まえて、事前学習で記入したチェックリストに加筆する ・グループワーク（42分） ※個人ワークでの気づきや、実践で行うことを共有・検討する ・全体共有（13分）	・事前学習で記入した「自己点検チェックリスト」
5分	講義	本日のまとめと今後の進め方 ・全体に関する質疑応答、第2回研修の案内、アンケートの提出方法の説明	・第1回研修資料 ・第1回アンケート

現場実践（各回共通）

<実施すること>

1. 対象事例の追加情報収集と課題の再確認、モニタリング

- 必要性を見落としていた項目や、より詳しい情報収集が必要と考えた項目は、他の職種と連携しながら追加で情報収集を行う。
- 状況の変化などを見ていく必要があると考えた項目は、他の職種と連携しながらモニタリングを実施する。

2. ケアプラン、支援内容の見直し案の作成

- 支援内容の工夫や見直しが必要と考えた項目は、他の職種からも意見をもらいながら、より本人の状態に合った工夫や留意点を考える。
- 支援内容の追加や縮小が必要と考えた項目は、適切なタイミングでケアプランに反映させる。

<使用する資料>

- 基本情報・モニタリング表
- （見直しを行った場合）ケアプラン見直し案
- 現場実践振り返りシート

第2回研修

時間数	セッション	内容	使用教材
5分	開会	進め方の説明	・第2回研修資料
100分	演習	現場実践の振り返り ①グループワーク ※人数に応じて時間を調整（25分×4人または20分×5人を想定） ・各参加者は、「振り返りシート」及び現場実践で用いた資料（モニタリング表、ケアプラン見直し案）に基づいて、事例概要を紹介し、実践結果と課題を共有する ・サブ講師や他参加者は、発表内容を踏まえて今後の具体的な実践方法を助言する ・「適切なケアマネジメント手法」のうち、どの「想定される支援内容」に着目したか、あるいは今後着目すべきかを意識して発表や助言を行う	・各参加者が用意する「振り返りシート」及び現場実践で用いた資料
10分	演習	現場実践の振り返り ②全体共有 ・グループワーク結果を全体で共有する	・第2回研修資料
5分	講義	本日のまとめと今後の進め方 ・全体に関する質疑応答、第3回研修の案内、アンケートの提出方法の説明	・第2回研修資料 ・第2回アンケート

第3回研修

時間数	セッション	内容	使用教材
5分	開会	進め方の説明	・第3回研修資料
100分	演習	現場実践の振り返り ①グループワーク ※人数に応じて時間を調整（25分×4人または20分×5人を想定） ・各参加者は、「振り返りシート」及び現場実践で用いた資料（モニタリング表、ケアプラン見直し案）に基づいて、事例概要を紹介し、実践結果と課題を共有する ・サブ講師や他参加者は、発表内容を踏まえて今後の具体的な実践方法を助言する ・「適切なケアマネジメント手法」のうち、どの「想定される支援内容」に着目したか、あるいは今後着目すべきかを意識して発表や助言を行う	・各参加者が用意する「振り返りシート」及び現場実践で用いた資料
10分	演習	現場実践の振り返り ②全体共有 ・グループワーク結果を全体で共有する	・第3回研修資料
5分	講義	本日のまとめと今後の進め方 ・全体に関する質疑応答、第4回研修の案内、アンケートの提出方法の説明	・第3回研修資料 ・第3回アンケート

第4回研修

時間数	セッション	内容	使用教材
8分	開会	本研修のねらいの振り返り、本日の進め方の説明	・第4回研修資料
67'	演習	現場実践の振り返り ※人数に応じて時間を調整（15分×4人または12分×5人を想定） ・各参加者は、「振り返りシート」及び現場実践で用いた資料（アセスメントシート、ケアプラン見直し案）に基づいて、実践結果や実践を通じて感じたことを共有する	・各参加者が用意する「振り返りシート」及び現場実践で用いた資料
65'	演習	取り組み事例の発表とコメント ・本手法の活用の効果が現れたり、ケアマネジャー自身が変化を実感している事例を数例共有（1事例につき20分×3人を想定）	・発表者が用意する発表資料
10'	休憩		
30'	講義	実践状況の総括 ・これまでに提出された資料・アンケートに基づく集計結果や示唆を共有する	・第4回研修資料
30'	演習	今後の実践宣言、研修の振り返り ※人数に応じて時間を調整（7分×4人または6分×5人を想定） ・各参加者は、「今後の実践宣言シート」に基づいて、今後取り組みたいことを共有する	・各参加者が用意する「今後の実践宣言シート」
30'	講義	今後に向けて ・講師やサブ講師による講評 ・全体に関する質疑応答 ・アンケートの提出方法の説明	・第4回研修資料 ・第4回アンケート

研修開催者の準備・検討事項

【必須事項】

- 第1回～第4回研修会の開催日程
- 各回のタイムテーブル
- 研修会の開催方法
- 第1回研修会の研修講師の選定
- 提出資料の授受方法
- 問い合わせ先
- 第4回研修会の取り組み事例の発表者の選定 ※実施状況を踏まえて研修後半で選定するでも可

【任意事項】

- 研修の実施回数 ※実践研修を何度か実施している研修開催者向け
- 研修会で着目する疾患別の手法 ※実践研修を何度か実施している研修開催者向け
- オンライン研修会への接続ルール（名前の表示ルール、会議室の入室可能時間など）